



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 日本コークス工業株式会社
 コード番号 3315 URL <https://www.n-coke.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 弘明

問合せ先責任者 (役職名) 人事・総務部長 (氏名) 奥苑 隆幸

TEL 03-5560-1311

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	94,195	94.1	2,198		3,727		2,676	
2022年3月期第2四半期	48,518	17.9	6,113	310.2	5,886	404.7	3,959	601.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,721百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 3,958百万円 (473.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	9.20	
2022年3月期第2四半期	13.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	145,499	52,584	36.1
2022年3月期	128,767	57,343	44.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 52,584百万円 2022年3月期 57,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		7.00	7.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期の配当については未定です。配当予想額の開示が可能となった時点で、速やかに開示する予定です。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	176,000	41.1	0		1,200		1,500		5.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	302,349,449 株	2022年3月期	302,349,449 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	11,322,343 株	2022年3月期	11,321,741 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	291,027,381 株	2022年3月期2Q	291,028,512 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化や新型コロナウイルス感染症の影響により、原材料価格の不安定化や海外経済の下振れリスクなどがある中で推移しました。

このような状況のもと、当社グループの業績は、主力のコークス事業において、前年同期に比べ原料炭市況やコークス製品市況の上昇や円安影響などがあり、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同期比456億7千7百万円増加の941億9千5百万円となりました。利益面では、原料炭市況の急騰などにより、利幅の減少が発生し、その後の市況急落に伴う棚卸資産の期末評価減によって、連結営業損益は、21億9千8百万円の営業損失（前年同期は61億1千3百万円の営業利益）となったほか、連結経常損益は、37億2千7百万円の経常損失（前年同期は58億8千6百万円の経常利益）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純損益は26億7千6百万円の純損失（前年同期は39億5千9百万円の純利益）となりました。

(セグメントの概況)

コークス事業につきましては、売上高は、前述の理由などにより、前年同期比333億4千4百万円増加の647億7千1百万円、営業損益は、36億3千5百万円の営業損失（前年同期は52億6千8百万円の営業利益）となりました。

燃料・資源リサイクル事業につきましては、売上高は、前年同期比119億1千6百万円増加の241億3千2百万円、営業利益は、前年同期比3億3千4百万円増加の15億7千3百万円となりました。

総合エンジニアリング事業につきましては、売上高は、前年同期比3億7千3百万円増加の35億6千3百万円、営業利益は、前年同期比2億1千万円増加の5億5百万円となりました。

その他につきましては、売上高は、前年同期比4千2百万円増加の17億2千8百万円、営業利益は、前年同期比1億1千3百万円増加の2億4千4百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、1,454億9千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ167億3千2百万円増加となりました。増減の主なものは、商品及び製品の増加107億3千7百万円、原材料及び貯蔵品の増加24億7千6百万円、建設仮勘定の増加24億2千7百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、929億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ214億9千1百万円増加となりました。増減の主なものは、短期借入金の増加212億5千5百万円、流動負債「その他」の増加12億7千3百万円、未払法人税等の減少20億1千4百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ、47億5千9百万円減少の525億8千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、前回（2022年10月11日）公表いたしました業績予想から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,023	5,163
受取手形、売掛金及び契約資産	19,706	18,386
商品及び製品	13,156	23,894
仕掛品	1,598	1,742
原材料及び貯蔵品	20,504	22,981
その他	1,952	2,793
貸倒引当金	△41	△37
流動資産合計	61,900	74,923
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,948	23,432
減価償却累計額	△15,378	△15,616
建物及び構築物(純額)	7,569	7,816
機械装置及び運搬具	95,546	96,715
減価償却累計額	△76,725	△78,733
機械装置及び運搬具(純額)	18,820	17,982
土地	34,298	34,225
建設仮勘定	209	2,636
その他	1,991	2,045
減価償却累計額	△1,382	△1,440
その他(純額)	608	604
有形固定資産合計	61,507	63,266
無形固定資産		
その他	439	432
無形固定資産合計	439	432
投資その他の資産		
投資有価証券	870	820
繰延税金資産	2,976	5,005
その他	1,083	1,061
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,919	6,877
固定資産合計	66,867	70,575
資産合計	128,767	145,499

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	29,878	29,410
短期借入金	14,094	35,349
未払法人税等	3,027	1,012
賞与引当金	900	941
関係会社整理損失引当金	344	353
受注損失引当金	215	424
その他	6,566	7,839
流動負債合計	55,028	75,332
固定負債		
長期借入金	9,099	10,302
退職給付に係る負債	3,083	3,071
役員退職慰労引当金	53	57
環境対策引当金	3,331	3,331
関係会社整理損失引当金	41	25
その他	786	793
固定負債合計	16,395	17,582
負債合計	71,423	92,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	1,750	1,750
利益剰余金	49,765	45,052
自己株式	△1,209	△1,209
株主資本合計	57,306	52,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	130
退職給付に係る調整累計額	△150	△138
その他の包括利益累計額合計	37	△8
純資産合計	57,343	52,584
負債純資産合計	128,767	145,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	48,518	94,195
売上原価	39,548	92,905
売上総利益	8,969	1,290
販売費及び一般管理費	2,856	3,489
営業利益又は営業損失(△)	6,113	△2,198
営業外収益		
受取配当金	6	14
助成金収入	15	12
保険差益	37	—
その他	38	35
営業外収益合計	97	62
営業外費用		
為替差損	—	1,121
その他	324	470
営業外費用合計	324	1,591
経常利益又は経常損失(△)	5,886	△3,727
特別利益		
固定資産売却益	63	142
特別利益合計	63	142
特別損失		
固定資産除却損	226	241
その他	10	8
特別損失合計	236	250
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	5,712	△3,835
法人税、住民税及び事業税	1,747	873
法人税等調整額	5	△2,032
法人税等合計	1,752	△1,158
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,959	△2,676
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	3,959	△2,676

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,959	△2,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△57
退職給付に係る調整額	11	12
その他の包括利益合計	△1	△45
四半期包括利益	3,958	△2,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,958	△2,721
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間において、当社北九州事業所のコークス炉設備の更新投資を決定しており、これに伴い、利用不能となる固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ241百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	31,426	12,215	3,190	46,832	1,685	48,518	—	48,518
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	6	714	721	197	918	△918	—
計	31,426	12,222	3,904	47,553	1,883	49,437	△918	48,518
セグメント利益	5,268	1,239	295	6,802	131	6,933	△820	6,113

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△820百万円は、セグメント間取引消去10百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△831百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計額	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	コークス事業	燃料・資源リ サイクル事業	総合エンジニ アリング事業	計				
売上高								
(1)外部顧客への 売上高	64,771	24,132	3,563	92,467	1,728	94,195	—	94,195
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	7	1,393	1,400	181	1,582	△1,582	—
計	64,771	24,140	4,956	93,868	1,909	95,778	△1,582	94,195
セグメント利益又は 損失(△)	△3,635	1,573	505	△1,555	244	△1,311	△887	△2,198

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸荷役事業、不動産販売・賃貸事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△887百万円は、セグメント間取引消去△17百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△869百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。